

長勝寺報

住職挨拶

住職、祐山和尚は、元々体調がすぐれませんでした。が、昨年初めの頃より突発性難聴など、日々の生活に支障をきたすようになりました。心労もありましたし、ただの疲れかと思っていました。徐々に体力を失い、6月の末より今も尚、入院を余儀なくされております。誰しも健康にありたいものです。和尚さんも出来ればもつと元気でいたかったことでしょう。ある日、病状が芳しくないとの知らせを受けて見舞いに行くと、涙を流して「生きていますよ」「私は生きていますよ」と繰り返して言っておりました。ああ、これはきつと生きていると言うよりも、生かさ

第7号
平成28年
(2016)
新春

発行所

〒八七〇一〇一四二
大分市三川下二丁目六番三三号
TEL 〇九七―五五八―四二八七
長勝寺
E-mail zokizan@tyosyoji-oi.com



<http://tyosyoji-oi.com/>

れていた！という喜びや感謝の心境にあるのだろうと直感しました。一病息災とでも申しましようか。

ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず

中学校で習った鴨長明の方丈記の冒頭です。

世の無常を説いたこの一節も、はかなく無常。だからこそ今を精一杯生きよう。と和尚さんのベットサイドに居ると、そんな風に受けとめました。

住職挨拶に代えて、祐山和尚近況のご報告まで

新観音堂着工す

一昨年に解体した観音堂の再建工事が始まっています。今まで作業場では細かい部材の加工がなされてきましたが、いよいよ新しいお堂が誕生します。解体からしばらく更地だった為、「いつ新しい観音堂が建つのですか」と心配の声を頂くこともありました。お待たせ致しました！建設の様子はホームページでも公開していきますのでぜひご覧ください。



制作中の花頭窓



柱の上部に据えられる組物

夏休み少年少女研修会



若手の和尚さんが中心となって毎年夏に開催している少年少女研修会が長勝寺で開催されました。和尚さんの用意してくれたカラーイラストやおやつを頂きながら、普段は中々体験できない坐禅や紙芝居、勾玉作りと楽しい時間を過ごしました。写真は紙芝居の様子です。

伝道掲示板

山門脇の伝道掲示板の文字を太く見やすくリニューアルしました。分かりやすい言葉から、ちよつと難しい禅語まで、10日から2週間に出会えますよう、未熟者、一生懸命頑張ります。

敬 老 会

暑さもやわらいで
きた 9 月 27 日、恒例
の 女 性 部 主 催 敬 老 会
を 開 催 しま した。

今 年 の 敬 老 会 は 久 し
ぶ り に 三 重 総 合 高 校
の 神 楽 部 を お 招 き し
ま した。



いやはや恐るべし。
皆さん本当に敬老
者ですか??さす
がは人生の大ベテ
ラン「負けんゾ!」
と、緩急自在の引つ
張り合いに、力自慢
の荒神さまもたじ
ろぐ元気な柴引を
見せて頂きました。

婚活

始めます



このたび「吉縁会」というお坊さん主催の婚活団体の傘下に加盟し、吉縁会大分支部を結成する運びとなりました。応募資格や年齢制限、申込み方法等詳細はネットで「吉縁会」と検索してください。ただいま準備段階です。正式に発足しましたら、あらためてご案内いたします。

高い成婚率を誇る吉縁会。お近くにご結婚相手をお探しの方がおられましたら是非おすすめください。

※事前に参加ご本人様がお寺にお越しいただき、お申し込み頂く必要があります。代理人不可)

※お寺が参加者の性格、人格、履歴等を保証するものではありません。ご了承下さい。

シリーズ 長勝寺の至宝

本堂の前に苔むす石像。釈迦三尊像と十六羅漢石像群です。羅漢とはお釈迦さまの元で修行なさるお弟子さま方です。幕末から明治の頃、賢巖禅師で有名な白杵の多福寺から長勝寺へ贈られました。お悟りという共通の目標を持った羅漢さま方なのに、お一人として同じ表情、姿のない様子からは、仏道の個性々々を見てとれます。

年間行事予定

◎ 1月13～14日

成道会（お釈迦様が悟りを開いたこと
に因み、塔婆供養と法話の会を致します）

◎ 1月15日

懺法会（懺悔と観音さまのお導き）

◎ 1月17日 初観音講

◎ 2月11日

新福寺大般若 団体参拝

◎ 2月15日

涅槃会（お釈迦様入滅の日）

寺宝 大涅槃図展覧

◎ 3月15日

春季巡教（塔婆供養と法話）

◎ 春 托鉢 三川鉢

◎ 5月5日

降誕会（お釈迦様の誕生日）

☆山門にて甘茶接待

◎ 5月28日

ご詠歌発展拡大会

◎ 6月下旬

新亡供養（京都妙心寺）

◎ 夏休み

こども坐禅会

午前7時～7時半

◎ 8月16日

山門大施餓鬼（先祖や世のすべての供養）

◎ 秋

長勝寺敬老会

◎ 12月31日23時半～1時迄

除夜の鐘 ☆精進蕎麦接待

お宮とお寺 竹灯籠の夕べ

◎ 毎月17日

観音講

◎ 第2・4水曜日

ご詠歌練習日

◎ 御講当番

亀王組

修理箇所報告

庫裏の雨漏り箇所を特定し、防水処置を致しました。

本堂照明の蛍光管を交換いたしました。

納骨堂入口の白砂を後藤勇太君に洗浄して頂きました。

編集後記

冒頭でお伝えした通り、年の半分を和尚さん不在のまま過ごし、気付けば年が明けた。

玄関には毎年決まってお贈り頂く牡丹花の大輪。

年々同じように咲く花に対する年々違う自分。まるで夢のように美しい花も、夢と知れば夢も無し。花終わればお礼肥え。1日終われば1日の礼拝。今日も良い日。明日も良い日。嫌な日嫌なこと何処へやら。

